

会 議 資 料

書面による開催

報告事項

- | | |
|--|---------|
| (1) 令和元年度文化財保護・調査・普及事業の報告について | P 1- 9 |
| (2) 令和2年度文化財保護・調査・普及事業の計画について | P 10-12 |
| (3) 取掛西貝塚保存事業の進ちょく状況について | P 13-17 |
| (4) 国登録有形文化財「玉川旅館（本館・第一別館・第二別館）」
の解体に伴う記録保存について | P 18-20 |

令和元年度文化財保護・調査・普及事業の報告について

1. 保護・調査事業

① 開発等に伴う埋蔵文化財に関する業務

開発等事業者と調整協議し、必要な発掘調査の実施等、埋蔵文化財保護業務を実施した。(業務実績については、別添資料P 7～P 9掲載。)

② 開発等に伴う発掘調査(本調査) 7 件

遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
ひがしなかやまだいいせきぐん 東中山台遺跡群(72)	中世台地整形区画他	直営
なつみ おおつかいせき 夏見大塚遺跡 (34)	弥生・奈良・平安時代竪穴住居跡他	直営
じょうほしいせき 上ホシ遺跡 (12)	縄文時代中期竪穴住居跡・小竪穴・土坑他	直営
なつみ だいいせき 夏見台遺跡 (68)	弥生時代・奈良・平安時代竪穴住居跡他	委託
うえたけいせき 上竹遺跡(5)	縄文時代土坑、中・近世溝状遺構他	直営
夏見台遺跡(70)	奈良・平安時代竪穴住居跡・土坑・溝状遺構他	直営
みやもとだいいせきぐん 宮本台遺跡群(82)	弥生時代竪穴住居跡、中世地下式坑・溝状遺構他	直営

※他に確認調査、確認・本調査あわせて 29 件(取掛西貝塚(8)を含む)実施。

③ 開発等に伴う発掘調査報告書刊行 5 冊

報告書名	時代・主な検出遺構	備考
令和元年度船橋市内遺跡発掘調査報告書	確認調査 5 件分(取掛西貝塚含む)	国庫補助事業
宮本台遺跡群(72)	古墳時代竪穴住居跡、近世道路状遺構他	直営
東中山台遺跡群(68)	奈良・平安時代竪穴住居跡・掘立柱建物跡他	委託
東中山台遺跡群(69)	平安時代竪穴住居跡、中世台地整形区画・道路跡他	委託
東中山台遺跡群(71)	奈良・平安時代竪穴住居跡、中世台地整形区画他	委託

④ 取掛西貝塚保存事業

詳細は、P13-17 報告（3）のとおり。

⑤ 令和元年度 文化財指定

文化財名	場所	指定日
取掛西貝塚（追加指定）	飯山満町一丁目 1384 番 16、1386 番 19	令和元年5月7日

⑥ 指定・登録文化財の調査

文化財審議会委員や各分野の専門家、郷土資料館と連携・協力し、調査にあたった。

名称	調査内容
もくぞう かんぜおん ぼさつ りゅうぞう 木造 観世音 菩薩 立像 の保存状況調査	令和9年（2027）の予定の33年に1度のご開帳を控え、普段確認することがない像の保存状況について、所有者から相談があり、船橋市文化財審議会柴田良貴委員（彫塑）、青木繁夫委員（文化財保存科学）に同行していただき、現状の確認調査を行った。
神楽の記録作成	指定文化財の4つの神楽について奉納日に取材を行い、記録を作成した。

⑦ 未指定文化財の調査

未指定の民俗行事・祭礼・神像の記録を作成した。	水神祭、北習志野の花まつり、印内八坂神社の祭礼、湊町八劔神社の祭礼（例大祭）、飯山満町神明神社の神楽、二和開墾150周年記念碑除幕式、船橋大神宮の子ども相撲、灯明台祭、飯山満町八幡神社の神像
-------------------------	---

⑧ 指定文化財補助事業

「船橋市文化財保護事業補助金交付要綱」に基づき、25件の指定・登録文化財の所有者等に管理伝承費の補助を行った。また、下記の6件に修理等費用の補助を行った。

指定文化財名	修繕等内容
どうみょうだい 「灯明台」	・ 3階灯室ガラス修繕 5月の強風で破損 ・ 西側屋根修繕 5月の強風で破損
はしごの きや うた 「梯子乗りと木遣り歌」	・ 梯子等用具購入 ・ 鳶口購入 経年劣化のため
「高根町神明社の神楽」	・ 狐用衣装等購入 新人加入のため
せきぞうじきゅうだいとくざぞう 「石造自休大徳坐像」	・ 小堂（祠）屋根修繕 損壊されたため

⑨ 第3回神楽伝承者(団体)交流会

11月24日(日)開催 5団体21人参加

市内で継承されている神楽の継承団体を対象に、講演及び交流会(意見交換会)を開催。今年度は市内の全5団体が参加した。

講演:「関東地方の神楽と音楽について」 神戸大学 川崎 瑞穂 氏

⑩ 文化財防火デー

1月26日の文化財防火デーに合わせて、消防署・文化財所有者・近隣住民と協力で実施する。2件の文化財で消防訓練に参加した。市内4件で予定されていたが、荒天のため2件が中止となった。

開催場所・住所	対象文化財名	主な参加者した (文化課除く)
東葉高等学校 飯山満町2丁目	東葉高等学校正門(旧近藤家住宅長屋門) (国登録有形文化財)	高校生・近隣住民・消防団員・消防署員・文化財管理者
みたけ御嶽神社 前原東5丁目	もくぞうざおうごんげんさんぞんりゅうぞう 木造蔵王権現三尊立像 (県指定)	近隣住民・消防団員・消防署員・文化財管理者

2. 普及事業

市内にある文化財の活用・公開を促進するとともに、文化財の周知に努めた。文化財説明板設置、刊行物発行、遺跡見学会実施、講師派遣、ホームページ作成・更新を行った。今後も文化財の活用・公開を促進するとともに、文化財の周知に努めていく。

① 文化財・遺跡説明板の設置・改修 8ヵ所設置

老朽化した2基の文化財説明板の更新を行った。英語の併記に加え、QRコードを読み込むことで、韓国語、中国語(簡体字)の解説をホームページで閲覧可能とした。

また、市内の学校・公園6か所に、国庫補助(地域の特色ある埋蔵文化財活用事業)を受け、遺跡説明板を設置した。

文化財・遺跡名	設置場所	備考
せきぞうじきゅうだいとくざぞう 石造自休大徳坐像(建て替え)	古和釜町365 東光寺	市指定文化財
もくぞうしょうかんぜおんぼさつりゅうぞう 木造聖観世音菩薩立像 (建て替え)	夏見6-23-3 長福寺	市指定文化財
だいかいづか ついじ台貝塚(5)	船橋市高根町626番7 高根町公園	国庫補助・新設
いんないだいいせきぐん 印内台遺跡群(71)	船橋市印内2丁目741他 印内公園	〃

しんやまかいづか 新山貝塚(4)	船橋市中野木1丁目146-6 中野木1丁目2号公園	〃
なつみだいにしいせき 夏見台西遺跡(2)	船橋市夏見台3丁目583-53 夏見台3丁目公園	〃
えびがさくかいづか 海老ヶ作貝塚(4)	船橋市大穴南4丁目957-29他 大穴南4丁目緑地	〃
みやもとだいかいづか 宮本台貝塚	船橋市東船橋3丁目3026-2 宮本北公園	〃

② 刊行物

普及用遺跡マップ1万部と取掛西貝塚パンフレット1万5千部を、国庫補助(地域の特色ある埋蔵文化財活用事業)を受けて刊行し、市内博物館・図書館等公共施設で市民に配布した。遺跡マップは市内の小学校(6年生全員)に重点的に配布した。

刊行物名	主な内容	販売・配布先
遺跡マップ 第5版	1万部・無料	市内小学校6年生・博物館・公民館等に配布
取掛西貝塚 一万年前の貝塚からみえる暮らしと環境 (パンフレット)	1万5千部・無料	文化課・市内博物館・図書館等で配布

③ 遺跡見学会・体験発掘

5回 参加者総数 632人

遺跡名	開催日	見学者数
芝山西小学校 体験発掘(取掛西貝塚)	6月26日(水)	38人
取掛西貝塚 遺跡見学会	8月10日(土)	469人
土地所有者向け遺跡見学会(取掛西貝塚)	8月24日(土)	17人
夏見台遺跡(68)現場見学会	12月7日(土)	51人
海老ヶ作貝塚(3)現場見学会	12月18日(水)	57人

④ 展示・講演会 埋蔵文化財

8件 参加総数 3,698人

名称	会期	参加者数
千葉県北西部地区文化財展「海と生きる-自然の恵みと人の知恵」 飛ノ台史跡公園博物館	11月2日(金) ～12月15日	2878人
縄文大学「イノシシの考古学」(國學院大學 阿部常樹氏)	11月6日(水)	70人
縄文大学『縄文人は土器で何を調理していたのだろうか?』 (東京大学総合研究博物館 宮田佳樹氏)	11月13日(水)	88人

縄文大学「取掛西貝塚縄文時代早期の野生植物利用と外来栽培植物」(学習院女子大学 工藤雄一郎氏)	11月27日(水)	68人
千葉県北西部地区文化財発表会「海と生きる」(中央公民館)	12月14日(土)	257人
千葉県北西部地区文化財発表会 ワークショップ(中央公民館)	12月14日(土)	273人
考古学講座「取掛西貝塚の動物考古学的調査と整理」(横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター 波形早季子氏)	1月18日(土)	64人
学術調査記念講演会「取掛西貝塚を考える」(勤労市民センター)(禰宜田佳男氏・佐々木由香氏・市職員)【中止】	3月14日(土)	中止

⑤ -1 講師派遣・講座 埋蔵文化財

24回 参加者総数 1,130人

講演名	開催日	参加者数
船橋史談会講演会【取掛西貝塚について】	5月24日(土)	16人
小中学校教員初任者研修 座学【取掛西貝塚について】(視聴覚センター)	6月5日(水)	150人
出前講座【取掛西貝塚について】(西部公民館)	6月12日(水)	80人
芝山東小学校6年生出前授業と取掛西貝塚見学会	6月21日(金)	54人
芝山中学校社会科授業協力(取掛西貝塚)	6月24(月)・25日(火)	52人
芝山高 出前授業(取掛西貝塚)	7月1日(月)	83人
中教協 取掛西貝塚見学と講義	7月3日(水)	35人
市議会 取掛西貝塚視察	7月9日(火)	12人
芝山高 見学(取掛西貝塚)	7月11日(木)	5人
まちづくり出前講座【取掛西貝塚について】(さざんか芝山いこいの家)	7月16日(火)	35人
明治大学博物館友の会(縄文)見学(取掛西貝塚)	8月1日(木)	22人
小中学校教員初任者研修 現場見学(取掛西貝塚)	8月2日(金)	150人
小中教頭会 見学会(取掛西貝塚)	8月8日(木)	15人
船橋市議会議員 取掛西貝塚見学	8月9日(金)	2人
はさまいき塾(取掛西貝塚)	8月29日(木)	33人
新高根公民館事業 見学(取掛西貝塚)	9月3日(火)	10人
国立歴史民俗博物館友の会見学(取掛西貝塚)	9月5日(木)	11人
市民グループ見学(取掛西貝塚)	9月13日(金)	6人
都市計画課まちづくり公開講座 第一部「古代の人のまちづくり」	10月8日(火)	50人
まちづくり出前講座「遺跡からみる地域の歴史」 薬円台自治会館 【薬円台周辺遺跡】	10月15日(火)	25人
まちづくり出前講座「遺跡からみる地域の歴史」	11月8日(金)	79人

坪井公民館 【坪井秘話ヒストリア】		
船橋地名研究会	11月17日(日)	22人
高根東小学校(3年生) 出前授業と地区探検	11月28日(木)	96人
市民大学校(2コマ)	2月28日(金)	87人

⑤-2 講師派遣・講座 歴史文化財

3カ所 参加者総数 130人

講演名 (担当)	開催日	参加者数
小室公民館「小室の歴史」	6月27日(木)	80人
まちづくり出前講座「市の文化財」 有料老人ホーム ここち船橋夏見	10月24日(木)	26人
まちづくり出前講座「市の文化財」草鞋会	2月16日(日)	24人

⑥ 研修生・職場体験受け入れ

名称	学校・団体名	受入日	参加者数
職場体験(埋文事務所)	御滝中学校	11月14・15日	4人

⑦ 吉澤野球博物館資料展示室 船橋市総合体育館(船橋アリーナ)内

展示・講演会一覧

名称	場所	開催日	参加者数
常設展示入替「イチロー」「プロ野球選手のサインボール」を展示	展示室	7月1日入替	
企画展「探究! 野球道具の世界〜バット・ボール・グラブのひみつ〜」	展示室	3月4日〜22日 (公開中止)	
江藤省三野球小話	小会議室	3月22日 (開催中止)	【中止】

3. その他

①令和元年度の台風15号及び19号での市内の文化財被害について

昨年発生した2つの台風の影響で、県内では数多くの文化財が被害を受けた。

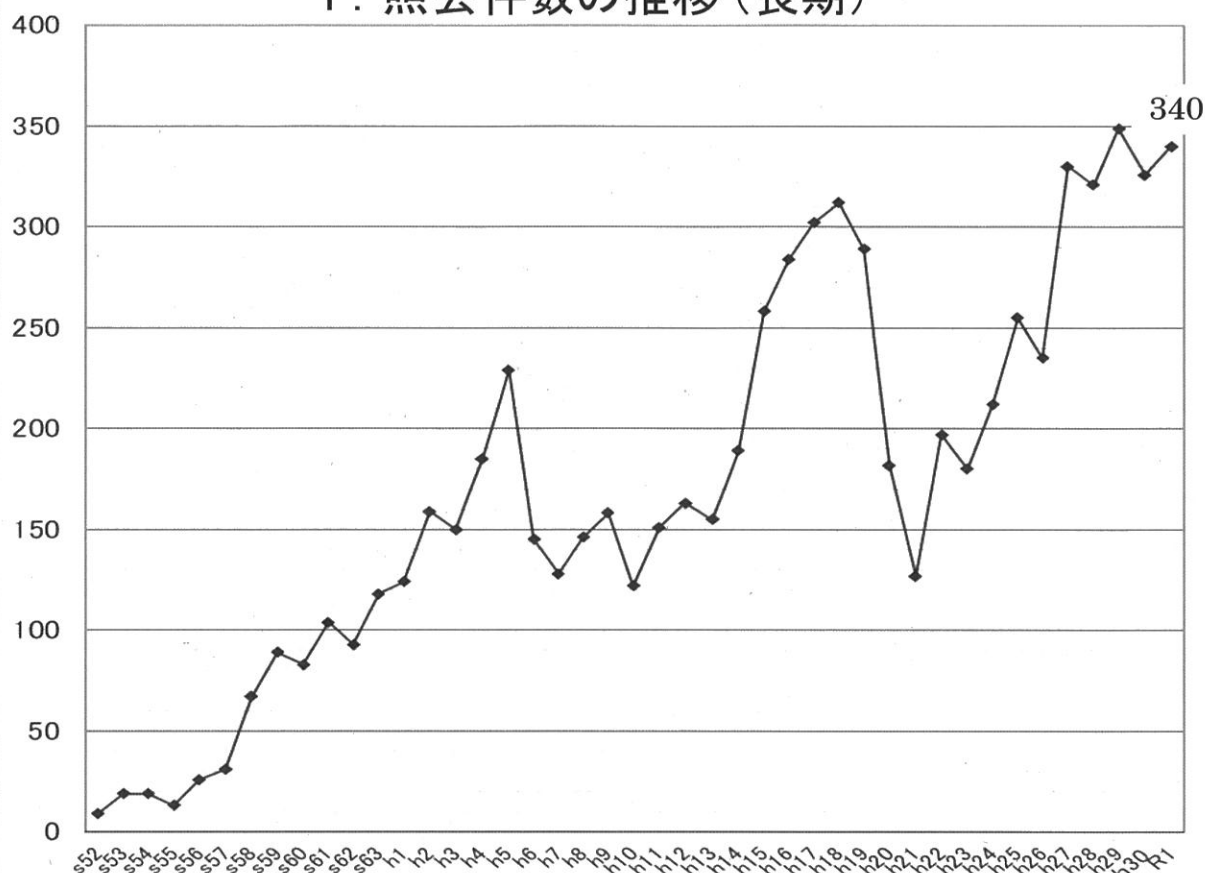
船橋市内の指定・登録文化財についての被害状況は下記のとおり。

種別	文化財名	被害状況	現状
市・有形文化財 (建造物)	二宮神社社殿	屋根及び本殿の一部破損。 その後、雨漏りがあり。	屋根部分修繕 (令和2年度予定)
市・史跡	船橋御殿跡 附 東照宮	社地境界の外柵の破損	新たな外柵を設置

※台風の被害以外で、令和元年12月2日に、石造自休大徳坐像(古和釜町)を安置しているお堂が壊される事件があった。坐像に影響はなし。

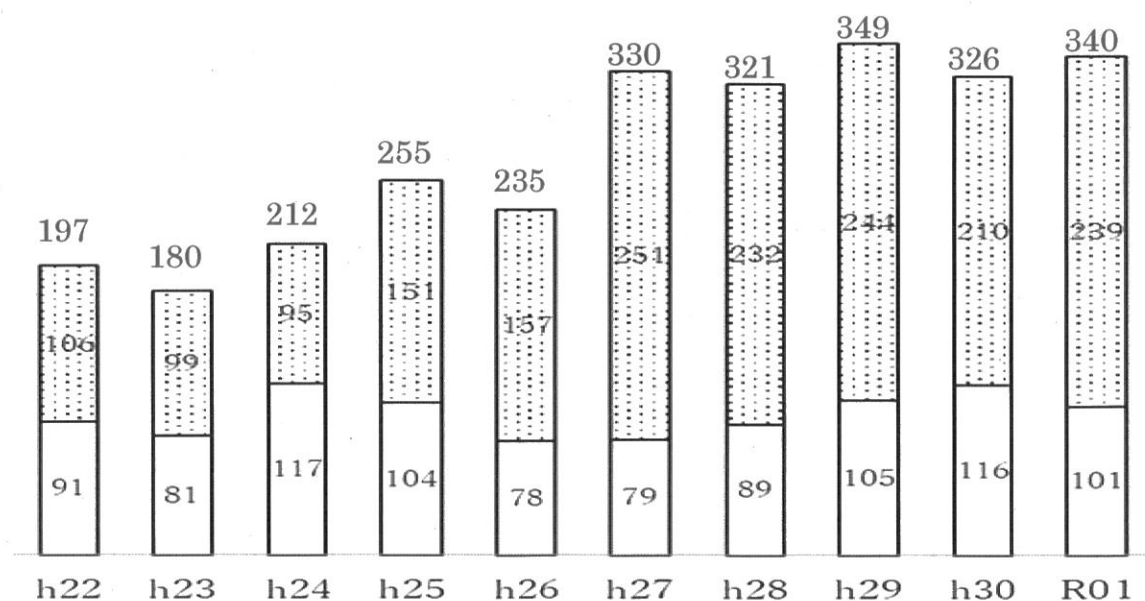
埋蔵文化財に関する統計資料（令和元年度）

1. 照会件数の推移（長期）

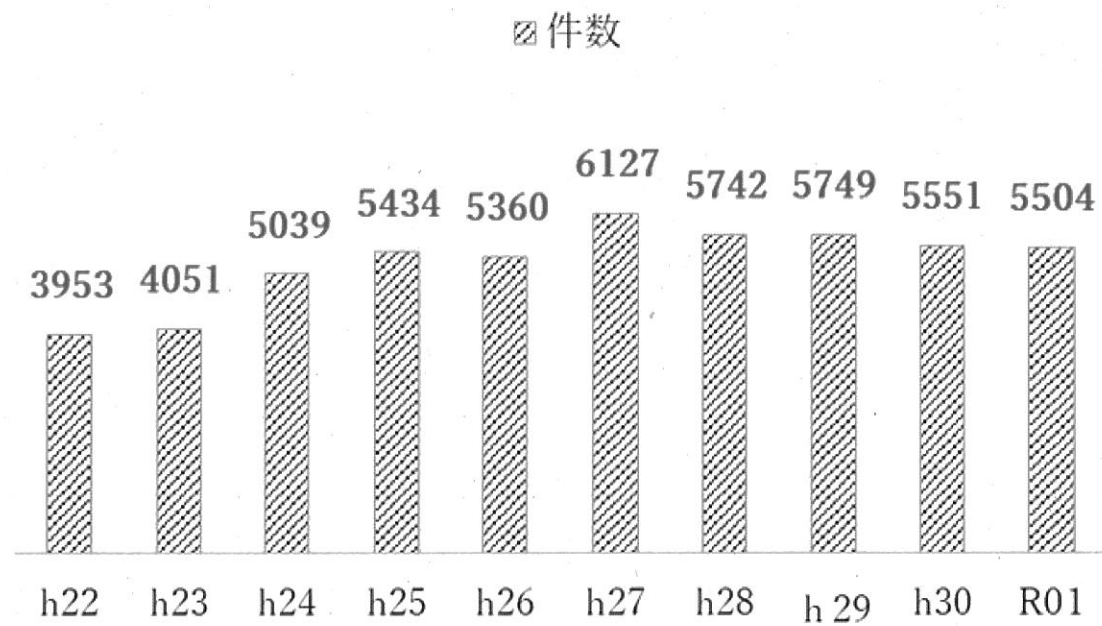


2. 文書照会件数

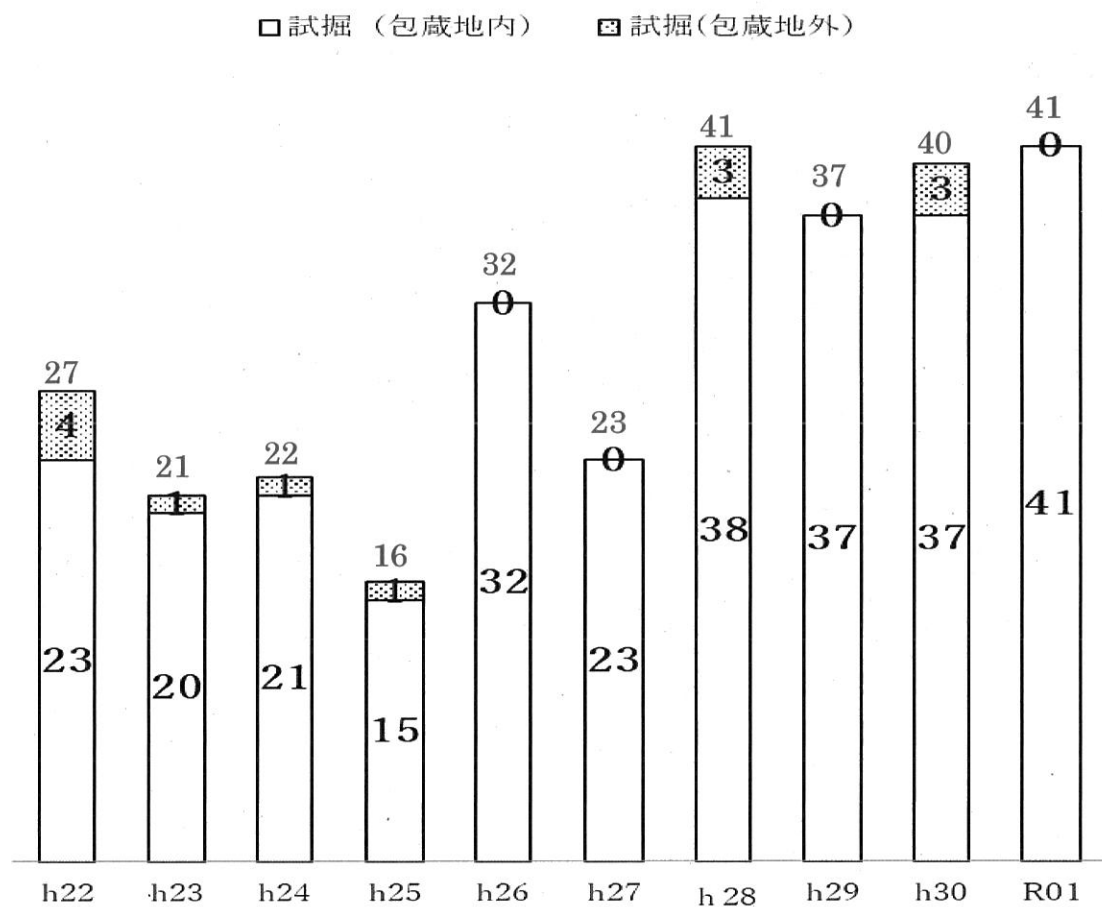
□ 無 □ 有



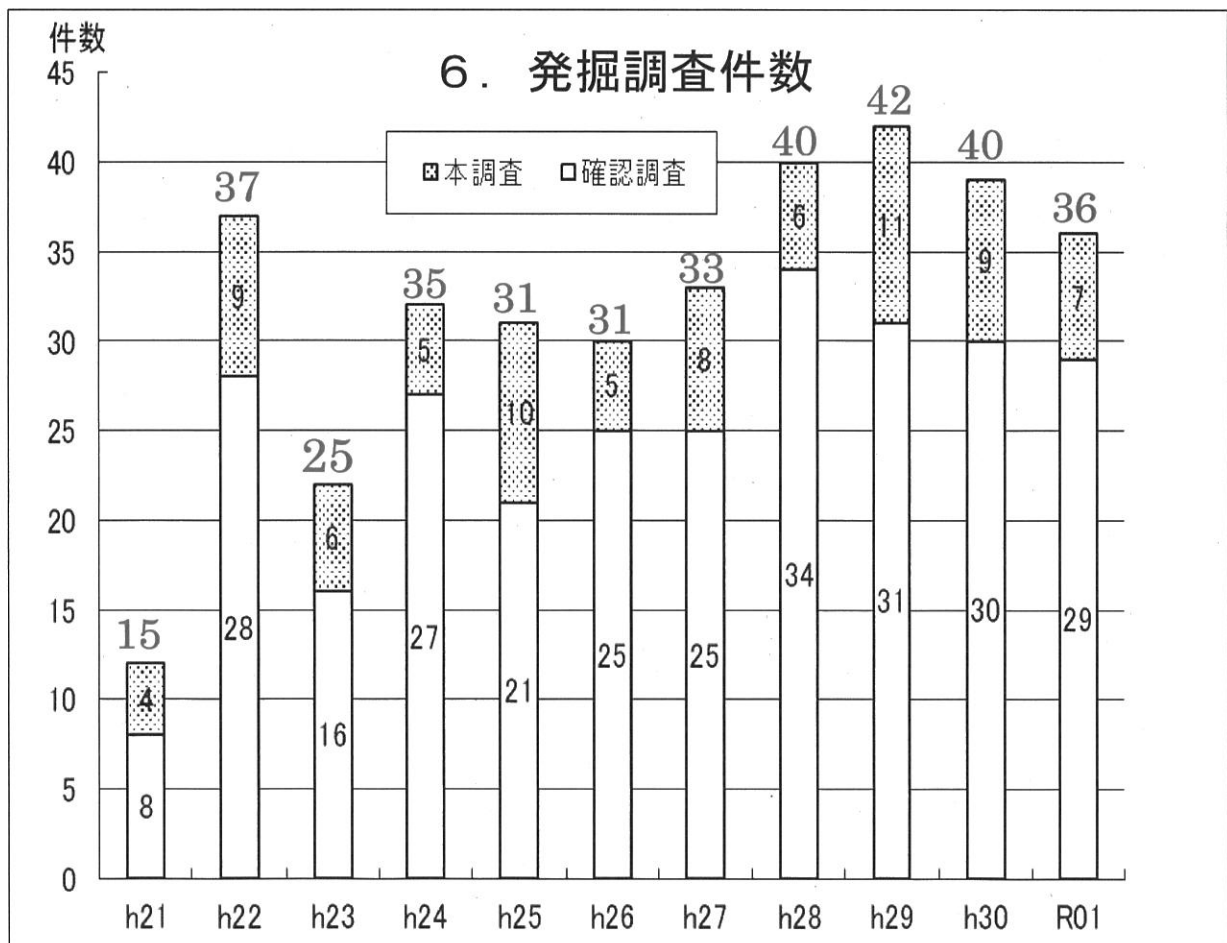
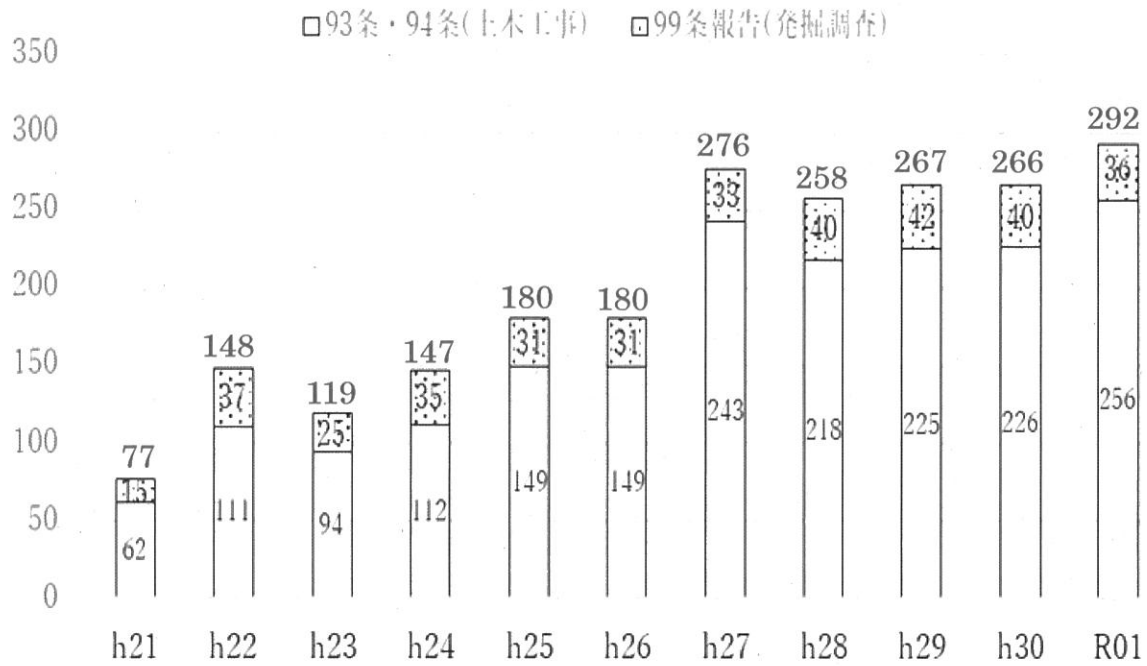
3. 窓口等の問合せ件数



4. 試掘件数



5. 土木工事届出等件数



令和2年度文化財保護・調査・普及事業の計画について

1. 文化財保護・調査

開発等事業者と調整協議し、必要な発掘調査の実施等、埋蔵文化財保護業務を実施する。また、文化財審議会委員や各分野の研究者の協力を得て、指定・未指定の文化財の調査を継続して行う。必要に応じて、郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館と連携する。

① 取掛西貝塚保存事業

詳細は、P13-17 報告(3)のとおり。

② 開発等に伴う発掘調査予定

遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
上ホシ遺跡(14)	縄文時代中期竪穴住居跡他	委託
中野木台遺跡(24)	縄文時代中期竪穴住居跡他	委託
宮前遺跡(6)	縄文時代中期竪穴住居跡他	直営
宮本台遺跡群(81)	縄文時代中期竪穴住居跡他	直営
その他本調査3件予定	古墳時代、奈良・平安時代	直営、委託
その他 確認調査32件予定		直営(市内遺跡4件含む)

③ 報告書刊行予定

遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
令和2年度船橋市内遺跡発掘調査報告書		国庫補助事業
取掛西貝塚総括報告書	縄文時代早期～平安時代	国庫補助事業
取掛西貝塚(5)－Ⅱ	縄文時代早・前期竪穴住居跡他 (出土遺物編)	直営
上ホシ遺跡(12)	縄文時代竪穴住居跡・土坑他	直営
東中山台遺跡群(72)	中世台地整形区画他	直営
夏見台遺跡(68)	弥生～平安時代竪穴住居跡他	委託
夏見大塚遺跡(34)	弥生～平安時代竪穴住居跡他	委託

④ 市費単独整理作業

遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
海老ヶ作貝塚(2)	縄文時代中期竪穴住居跡他	整理・委託準備作業
宮本台遺跡群(52)	古墳時代中・後期竪穴住居跡	整理作業

⑤ 指定・未指定文化財調査予定

文化財名	調査内容	備考
市内の神楽の調査	市内5つの神楽について、記録を作成する。	
市内の祭礼の調査	市内で行われる祭礼の調査。	
市内の古民家調査	古民家の解体時に調査し、記録保存を行う。	

⑥ 下野牧二和野馬土手

年2回草刈・樹木の半剪定を実施し、保護に必要な維持管理続けていく。昨年同様、近隣の小学校に野馬土手の貴重性を伝えていく。

⑦ 神楽伝承者（団体）交流会

平成29年度から行ってきた神楽伝承者（団体）交流会であるが令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から集まっての開催は行わないこととした。交流会開催に代わる伝承者（団体）への継承や技術支援を行う取組が何かできないか検討している。

⑧ 指定文化財補助事業

市内の指定・登録文化財の管理伝承費や緊急修繕等に対し、補助を行っていく。

2. 普及事業

引き続き、遺跡マップおよび取掛西貝塚パンフレット・リーフレットの作成・印刷、文化財・遺跡説明板の設置を行う等、普及活動を積極的に行う。

① 文化財・遺跡説明板の設置・改修予定

文化財・遺跡名	設置場所	設置数
指定文化財の説明板の建替え	検討中	2基予定
遺跡説明板の設置	検討中	5基予定 国庫補助

② 遺跡見学会開催予定

遺跡名	開催日
未定（開発等に伴う発掘調査）	開催可能時随時

③ -1 講師派遣・講座予定 埋蔵文化財

講演名（担当）	開催日	参加人数（予定）
飛ノ台史跡公園博物館20周年記念巡回展 かわる生活様式！？-船橋の縄文時代早期-	10月31日（土）～12月6日（日）、12月19日（土） ～1月31日（日）	前半は飛ノ台史跡公園博物館、後半は郷土資料館で展示

縄文大学（飛ノ台史跡公園博物館）	10月29日(木)、 11月5・12日(木)	
千葉県立中央博物館展示：千葉の発掘最前線		
考古学講座（飛ノ台史跡公園博物館）	1月3回実施予定	
取掛西貝塚記念講演会 勤労市民センター	3月13日(土)	

③-2 講師派遣・講座予定 歴史文化財

講演名（担当）	開催日	参加人数（予定）
船橋の神楽～市内に伝わる5つの神楽～ （高根台公民館）	12月1日（火）	50人

④ 研修生・職場体験受け入れ予定

名称	学校・団体名	受入日	参加者数
未定			

⑤ 吉澤野球博物館資料展示室

平成27年度に「吉澤野球博物館」（本中山1丁目）から譲り受けた資料の一部を、平成29年度に、船橋市総合体育館（船橋アリーナ・習志野台7丁目）内に「吉澤野球博物館資料展示室」を設置し、展示している。6月15日から船橋市総合体育館の利用再開に伴い、公開を開始した。今年度は3月に企画展の開催を予定している。

企画展・展示替え予定	開催日
（仮）企画展「野球の道具2」	3月予定

令和2年度 取掛西貝塚保存事業の進ちょく状況について

取掛西貝塚は、飯山満町と米ヶ崎町にまたがる台地上にあります。船橋市初となる国史跡指定を目指し、約76,000㎡の広大な遺跡を解明するため、平成29年度から令和元年度までの3か年計画で、文化庁、県文化財課及び取掛西貝塚調査検討委員会の指導・助言を受けて学術調査を実施しました。この学術調査により、全国的にも貴重な約1万年前の縄文時代早期前半の集落の姿が次第に明らかになってきました。

現地での発掘調査は令和元年度で終了し、2年度は調査成果を整理・分析・研究して総括報告書をまとめ、地権者の皆様から同意を得た上で、文部科学大臣に国史跡指定の意見具申を行う予定です。国の文化審議会で認められれば、最短で令和3年10月に国史跡に指定される見込みです。

1. 取掛西貝塚の概要

取掛西貝塚は、縄文時代早期前半（約1万年前）と前期（約6千年前）の貝塚・集落跡です。約1万年前の貝塚は東京湾東岸部最古であり、当時の集落の様子とあわせて環境や生業を解明することができる、全国的にみても希少で重要な遺跡です。平成29年度から令和元年度までの学術調査の結果、台地のほぼ全体に約1万年前の集落跡が広がっていることが判明しました。また、約6千年前の縄文時代前期の竪穴住居跡や貝層、市内では珍しい約2,100年前の弥生時代中期の集落跡なども検出されています。

2. 令和元年度学術調査について

目 的：国史跡指定を目指し、遺跡の範囲や構造を把握する。

調査担当：文化課 埋蔵文化財調査事務所

調査期間：令和元年6月10日～令和元年9月30日

対象面積：7,144㎡

主な調査成果：別紙「取掛西貝塚全体図」・「調査範囲及び検出した遺構」参照

- ① 縄文時代早期前半（約1万年前）の竪穴住居跡が新たに12軒確認されました。その結果、50軒を超える縄文時代早期前半（約1万年前）の竪穴住居跡がほぼ台地全体に分布しており、関東最大級の集落跡であることが明確となりました。
- ② 本遺跡で最も古い縄文時代早期初頭（約11,500年前）の土坑（穴）を発見しました。人々がこの場所を利用した時期が、過去の調査で確認していたよりも、さらに1,500年ほどさかのぼりました。
- ③ 平成29年度に検出した縄文時代早期前半と前期の竪穴住居跡を1軒ずつ掘り下げ住居構造について詳しく調査しました。早期前半の竪穴住居跡では、柱穴と思われるピットをいくつか断ち割って観察し、柱の痕跡等を確認しました。これらを基に、史跡指定後、建築の専門家と住居構造について検証・考察していく予定です。

3. 令和元年度普及啓発について

- (1) 遺跡見学会・体験発掘：延べ参加者数524人

一般市民向け遺跡見学会の他、地元小学校の体験発掘等を開催しました。

- (2) 講師派遣・講座等：延べ参加者数1,130人

公民館での出前講座や市民団体の見学、教員向けの研修会などを行いました。

(3) 展示・講演会等：延べ参加人数 3,698 人

飛ノ台史跡公園博物館と連携して、千葉県北西部地区 11 市合同の企画展示と発表会等を開催しました。

(4) 刊行物その他

取掛西貝塚の概要報告書を刊行し日本考古学協会に配布したほか、一般市民向けパンフレット「取掛西貝塚—1 万年前の貝塚からみえる暮らしと環境—」を刊行しました。

4. 令和2年度の計画と実施内容

(1) 整理・分析・報告書刊行(12月刊行予定)

- ①発掘調査報告書「取掛西貝塚(5)―Ⅱ」(第5次調査報告・遺物編)の作成・刊行
- ②総括報告書の作成・刊行

(2) 国史跡指定準備

①指定候補地の決定

国・県・調査検討委員会の助言を受け、文化庁調査官と現地確認を行い、市として別紙「国指定史跡候補地の範囲」の範囲としました。

②同意交渉

8月上旬から、土地所有者の戸別訪問を開始しています(市をのぞいて65名)。

③意見具申

土地所有者等の同意を得たうえで、総括報告書を添えて文部科学大臣に史跡指定の意見具申を行う予定です。

(3) 普及事業

①刊行物

- ・取掛西貝塚パンフレット(子ども向け)発行・カラー8頁予定(国庫補助事業)
- ・リーフレット「取掛西貝塚ってどんな遺跡？」第2版発行(国庫補助事業)
- ・『船橋の遺跡マップ』1万部印刷・小学6年生配布(H.27～継続・国庫補助事業)

②講座・講演会・遺跡見学会等

- ・市民対象の講座(10/16出前講座他)
- ・講演会@市民文化創造館(きららホール) 3月13日(土)午後予定
講師：禰宜田佳男(大阪府立弥生文化博物館長、元文化庁主任調査官)、
佐々木由香(明治大学黒耀石研究センター客員研究員)、市職員

④ 展示

企画展「かわる生活様式? - 船橋の縄文時代早期 -」を10月31日～12月6日まで飛ノ台史跡公園博物館で、12月19日～令和3年1月31日まで郷土資料館で開催予定。

千葉県立中央博物館企画展「ちばの縄文」(10～12月)にて取掛西貝塚の出土資料展示予定。

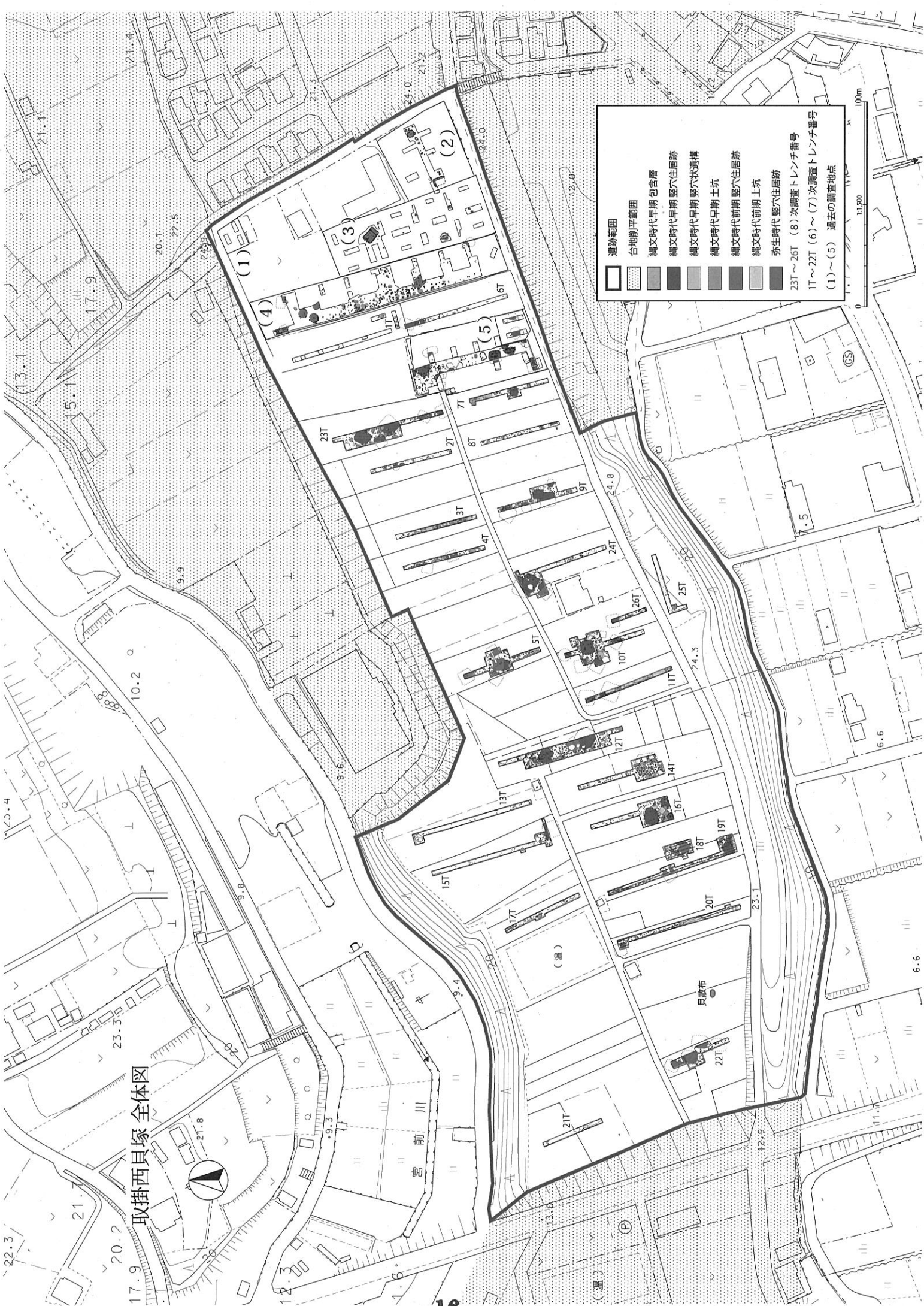
④広報活動

- ・『広報ふなばし』、各新聞等、Facebookによる情報発信他

取掛西貝塚 国指定史跡候補地の範囲(飯山満町及び米ヶ崎町)



取掛西貝塚 全体図



取掛西貝塚 調査範囲及び検出した遺構

取掛西貝塚 (8)

調査対象範囲 : 7,144m²

堅穴住居跡 (縄文早期) : 13軒

堅穴住居跡 (縄文前期) : 4軒

堅穴住居跡 (縄文中期) : 1基

土坑 (縄文早期) : 43基

ピット (縄文) : 589基

か跡 (縄文中期) : 1基

陥穴 (縄文) : 1基

堅穴住居跡 (平安) : 2軒

溝跡 (近世) : 1条

投石・風倒木痕

0 1,000 50m

国登録有形文化財「玉川旅館(本館・第一別館・第二別館)」の解体に伴う 記録保存について

国の登録有形文化財(建造物)であり、今年で創業100年を迎える老舗割烹旅館「玉川旅館」が令和2年(2020)4月で営業を取りやめ、6月には解体工事に入るという連絡がありました。同旅館は昭和の風情を色濃く残す船橋では数少ない木造の建造物であり、国の登録有形文化財となっていることから、文化課と郷土資料館では、玉川旅館の解体前に記録保存を行うべく、建物の外観及び内部の動画撮影や建築の専門家による構造等の調査、建築写真家による写真撮影等の記録保存を行いました。

記録保存した内容と今後の事業(公開)予定は、下記のとおりとなります。

なお、玉川旅館の解体は開始されており、11月には解体が終了することになっています。

記

登録有形文化財名：玉川旅館(本館・第一別館・第二別館)

場 所：船橋市湊町2丁目6番25号

登 録 年 月 日：平成20年4月18日

解体終了後、登録抹消申請予定

【記録保存概要】

1. これまでに行った記録保存

- ① 建築物の専門家による調査・図面作成
- ② 建造物内外の映像記録(動画・静止画)の撮影
ドローンでの上空からの撮影・各部屋の360度VR画像撮影・
建築写真家による館内外の撮影等
- ③ 館内の調度品・記録類・一部部材の寄贈受入

2. 今後の事業(公開)予定

- ① 撮影動画の編集・公開
- ② 報告書の作成
- ③ 郷土資料館等での展示(令和3年度以降)

「玉川旅館」記録保存と解体状況写真



解体前「玉川旅館」 隣接ビルから撮影



撮影の為、あかりが灯されたネオン



第二別館 大広間での映像撮影風景



第二別館 大広間の畳撤去後の風景



第二別館解体前に屋根瓦を下ろし作業



第二別館解体後 塩田跡に建てるため、地盤強化のために打ち込まれた松杭(長さ3.2m、直径18~20cm)

惜しまれつつ 太宰治ゆかりの玉川旅館が閉館

関文化課 ☎436-2887

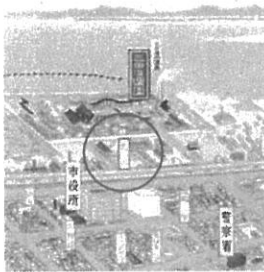
100年間“安らぎ”をありがとう



4月30日、多くの人に愛されてきた玉川旅館(湊町2)が、約100年の歴史に幕を閉じました。玉川旅館は、太宰治ゆかりの宿としても知られており、国の登録有形文化財に登録されている船橋を代表する旅館です。

玉川旅館の歴史

玉川旅館は、大正10(1921)年に料亭として営業を開始しました。創業当初は目の前に埋め立て前の海が広がる海岸リゾートで、「玉川」という名前は、料亭を始めた小川家当主の父、小川紋蔵氏が船橋大神宮奉納相撲で名乗っていた四股名に由来します。昭和24(1949)年から旅館業を加え、時代や世代を超え市のランドマークとして親しまれる旅館となりました。



▲昭和26(1951)年発行の船橋を紹介したリーフレット「PARADISE FUNABASHI」にも掲載されています



▲付近が海岸線であったことをしのばせてくれる「船着き場跡」



▲昭和33(1958)年の玉川旅館 (撮影:手塚博通)



3代目女将の長野真子さんは、「閉館は心苦しいけれど、地元の皆さんの応援あってこそ、ここまでやってこれました。お客様から学び、励まされて私も女将になりました」と感謝の言葉を述べられました。

太宰治ゆかりの部屋

文豪・太宰治は、「桔梗の間」という部屋に20日間ほど泊まって小説を書いていたと言われており、「同じ部屋に泊まりたい」と海外からも多くのファンが訪れていました。滞在費用が支払えず、フランス語の辞書や万年筆を置いて行くと伝えられています。※昭和51(1976)年に旅館の母屋が火災に遭い、辞書や万年筆は現在残っていません



太宰治と船橋

太宰治は昭和10年頃に船橋で生活し、「ダス・ゲマイネ」や「虚構の春」等を執筆しました。自身の回想記「十五年間」の中で「千葉船橋町の家が最も愛着が深かった」と語っています。



▲宿泊客や宴会利用者に親しまれてきた「湊温泉」

情緒あふれる文化財

玉川旅館の本館、第一別館、第二別館は、平成20(2008)年に国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。市内にある登録有形文化財4つのうち、3つが玉川旅館のものであります。

本館は、昭和16(1941)年に建築されました。2階建てですが、高床式の長い脚があるため一見すると3階建てに見え、高床部分にはかつての船着き場跡も残っています。第一別館は昭和3(1928)年建築の平屋で、数寄屋風のデザイン。第二別館には、間仕切りを取り払うと97畳もある大宴会場として使える部屋があり、盛大な結婚式等が開かれていました。



市では記録保存を行っています

玉川旅館は、残念ながら本年中に取り壊される予定です。市では、専門家による調査を行い、報告書や旅館を訪問したような感覚が味わえる動画作成等の記録保存を行っています。また、建物の部材や調度品の寄贈を受け、今後、郷土資料館等で活用していきます。